第７回令和６年度制服等学用品検討委員会議事録

１　日　　時：令和７年２月１２日(水)　１０時０５分～１１時２０分
２　場　　所：越谷市役所　本庁舎８階　第２委員会室
３　内　　容：・制服デザイン投票結果に基づく、最終決定について
・ボタンデザイン最終決定について
・制服購入アイテムの確認
・仕様書公開について
・川柳中学校学用品検討委員会について(R7 年度)
・その他
４　議 事 録：以下のとおり

発言者	発言内容
（１０：００開始）	
制服デザイン投票結果に基づく、最終決定について	
事務局	・光陽中・川柳中制服デザイン投票結果の確認 得票数の一番多かったものを最終決定とすることでよろしいか。
構成員	～承認～ 【制服デザイン最終決定】 光陽中・・・候補③ 川柳中・・・候補①
ボタンデザイン最終決定について	
事務局	ボタンデザインの最終決定方法について説明する。 （株）トンボに作製していただいたボタンデザインサンプルを構成員の皆様にご覧いただく。決定した制服と照らし合わせてみて、各自１点ずつボタンデザインとしてふさわしいと思うものを決めていただき、ボタンデザイン最終選定用紙に記入していただく。 前回の会議と同様に、開票して、投票結果を見て最終的に両校ともに１点に絞っていきたいと思う。 なお、１回目の投票で同票１位となった場合は、再投票を行い、最終的に１点に絞っていきたいと思う。 このような方法で最終決定していく形でよろしいか。
構成員	～承認～
(株)トンボ	・作製したサンプルボタンデザインについて説明
構成員	・サンプルボタンデザインの確認

	・選定投票、開票、最終決定ボタンデザイン確認 【ボタンデザイン最終決定】 【光陽中】　　【川柳中】 ゴールド　　シルバー
事務局	今回最終決定したボタンデザインについては、デザインを描いた４年生児童に最終確認をした後に制服デザインと一緒に小中一貫校だより等で周知していくことを予定している。 デザインを描いた児童への確認については、両校の校長先生に改めてお願いさせていただく。
委員長	今回最終候補まで残って、採用されなかった３点のデザインをしてくれた子ども達にサンプルボタンを渡してあげるのはどうか。もらった子ども達もうれしいと思う。
(株)トンボ	その形がよいと思う。
構成員	自分の描いたデザインが形となってうれしいと思う。
構成員	最終候補までこの４点が残ったことを学校に貼りだすことはできないか。貼りだせれば、選ばれた子ども達の自信になると思う。
構成員	採用されたものを少し大きくして、それ以外に３点候補があったことをＡ４でもＡ３でもよいので、１枚のポスターのようなものにして貼りだすのはどうか。
事務局	教育委員会の方でポスターを作成し、学校で貼りだしていただきたいと思う。

制服購入アイテムの確認	
事務局	【上衣】 1　性別による骨格差を考慮したブレザーとして、男子体型向けと女子体型向けのブレザーを用意し、どちらかは全員購入。表記は「タイプⅠ（男子体型向け）・タイプⅡ（女子体型向け）とする。 2　ワイシャツは、現在の光陽中の規定と同様の市販品で白色の長袖を全員購入。 【下衣】 3　性別による骨格差を考慮したスラックスとして、男子体型向けと女子体型向けのスラックスⅠ・Ⅱを用意するとともに、スカートを用意し、どれか１つは全員購入。 【付属品】 4　ネクタイまたはリボンのどちらかは全員購入。 これらがマストアイテムとしての全員購入品とする。 その他のサブアイテムとして、 5　暑さへ配慮したアイテムとして、現在の光陽中の規定と同様の市販品で白色の半袖ワイシャツと白色・紺色・水色の指定品のポロシャツを用意し、自由購入とする。 6　寒さへ配慮したアイテムとして、現在の光陽中の規定と同様の市販品の丸首・Ｖネックの黒色・紺色のセーター・カーディガンに併せて、ベストも準備し、ベストに関しては白色も可とし、自由購入とする。
(株)トンボ	・(株）トンボによる今回新たにサブアイテムとして準備したベストについて説明
事務局	ベストについては、今回ブレザータイプの制服導入に伴い、新たに市販品として準備することになったものである。ベストのワンポイントやラインなどについては、生徒指導の観点から光陽中教職員で協議し、販売に向けて令和８年度に周知していくということでよろしいか。
構成員	～承認～
事務	これらが、これまでの会議の中で決定となった内容となるが、この内容で共通理解としてよろしいか。
構成員	～承認～

仕様書公開について	
(株)トンボ	・(株）トンボによる仕様書（仮）について説明
事務局	・仕様書公開の流れについて説明
(株)トンボ	・仕様書公開の流れについて補足説明
構成員	①の時に完全な仕様書を公開となるのか、サンプル的な仕様書となるか。
(株)トンボ	取り扱うアイテムの全てを提示することを予定している。
構成員	販売店が取扱いのあるメーカーに仕様書を提示して、生地スワッチを作製させて、提出するということでよろしいか。
(株)トンボ	販売店がメーカーを選ぶことができ、仕様書に沿って生地スワッチを作成して提出し、基準を満たしていれば合格という流れとなる。
構成員	販売店はこれを機に(株)トンボと取引をしたり、これまで取引のあるメーカーに仕様書を出したりするということか。
(株)トンボ	そのとおりである。
構成員	外部機関に生地スワッチを提出するのは、教育委員会が行うのか。
(株)トンボ	外部機関へ申請を行うのにお金がかかってしまう。これをすべて教育委員会が窓口となって行うと、何度もやり直しになった場合、その都度お金がかかってしまう。他市の事例として、メーカー負担で外部機関に申請をしている。
構成員	メーカーが外部機関に申請し、外部機関から合格をもらったことを委員会へ報告がされて、それをもとにして仕様書に沿ってサンプルを作製して、そのサンプルを検討会で合否判断するということか。
(株)トンボ	そのとおりである。
構成員	仕様書公開の参加者だが、川柳小学校の校長も入れておいた方がいいと思う。制服について保護者から問い合わせがあったときに川柳小の校長がわからないことがないようにした方がよいと思う。実際に着用し始める子ども達は小学校に在籍しているため、校長が知っておいた方がよいと思う。参加者については、委員会の方でご検討いただければと思う。

事務局	一度預かって、検討させていただく。
構成員	(株)トンボが提案したときの資料に摩耗強度試験は４００００回と記載があり、仕様書には６００００回と記載になっている。これは強度をさらに強くした素材を使うということになるか。
(株)トンボ	今回提案した生地を調べた時に、６００００回の基準を満たしていたためこのような記載となった。提案時の資料はテンプレートとして使用している生地についての記載となっている。
構成員	生地のグレードがアップして、価格が上がるということはあるか。
(株)トンボ	同じ生地のため価格が上がるということはない。
構成員	提案時の参考販売価格があるが、(株) トンボが提供した場合は、基本的のこのような価格になるということか。
(株)トンボ	そのとおりである。あとは、販売店による価格となったり、全てのアイテムを購入したらワイシャツプレゼントしたりというようなこともある。
川柳中学校学用品検討委員会について(R7 年度)	
事務局	今年度は「令和６年度学用品検討委員会」を立ち上げ、光陽中学校の制服等のモデルチェンジ及び川柳中学校の制服等の作製を行っている。 制服等作製に関しては、マスターメーカー方式でプロポーザルを行い、審査の結果、(株) トンボに決定し、デザインの決定や仕様書の作成、導入後の運用等で、本委員会の支援を行っていただいている。 来年度は「川柳中学校学用品検討委員会」を立ち上げ、川柳中学校の学用品について検討し、業者及び仕様の選定をすることを計画している。検討委員会で検討を進めていく学用品アイテムは、大きく分けて３つのカテゴリーを考えている。 １つ目は、体操着、ジャージ（ハーフパンツも含む） ２つ目は、通学カバン（スポーツバッグ、いわゆるサブバッグも含む） ３つ目は、上履き（体育館シューズも含む） 令和７年度に立ち上げる「川柳中学校学用品検討委員会」の構成員の枠としては、表のとおり設けたいと考えている。 川柳中学校の学用品という観点から、制服等学用品検討委員会とは異なり、明正小学校の校長先生及び PTA 代表者を構成員に含んでいない。 その関係もあり、検討委員会の構成員の人数が少なくなることが懸念されるため、光陽中・川柳小のＰＴＡ代表者を３名ずつ選出していただき、合計１２名程度の構成員で運営していくことを計画している。 続いて、推薦・公募枠について説明する。

	光陽中学校からは、光陽中学校から分離する学校の学用品を決めることになるため、着用のルールやお下がり含み検討をしていくという点から、校長先生にご出席をしていただきたいと考えている。また、光陽中学校ＰＴＡ代表者は、現在光陽中学校の学用品を購入・使用しているという点から、お子さんの出身小学校に関係なく選出をいただきたいと考えている。 川柳小学校からは、川柳小学校を卒業した子たちが進学する学用品を決めることになるため、校長先生に出席をしていただきたいと考えている。制服等学用品検討委員会の構成員規定では「校長『等』」となっているが、今年度校長先生方には様々な意見をいただいているため、川柳中学校学用品検討委員会においても校長先生に出席をしていただきたいと考えている。 また、川柳小学校ＰＴＡ代表者は、今後川柳中学校の学用品を購入・使用していくという点から、参加をしていただきたいと考えている。 一般保護者枠としては、光陽中学校と川柳小学校からは１名ずつ公募する。光陽中学校の一般保護者枠についても、お子さんの出身小学校に関係なく公募する予定。 未就学児保護者枠としては、近隣幼稚園・保育園に周知するとともに、越谷市ホームページにも公開し、川柳小学校通学区域にお住まいの方から公募することを考えている。 川柳中学校学用品検討委員会の大まかなスケジュールについては、第１回目は、制服の時と同じように、アイテムごとに方針・重要視するポイントを決定したいと思う。 ５・６月に実施するアンケート結果を見ながら判断・検討をしていきます。 また、各アイテムを制服の時と同じようにマスターメーカー方式とするのか、メーカー指定にするのか、メリット・デメリットを議題に挙げ決定していきたいと思う。 ６月の決定内容によっては、７月以降の予定が決まるため現時点での案となる。 学用品検討委員会では、体育着・ジャージから先に決めて、後に通学カバンや上履きを決めていくことを計画している。理由としては、体操着・ジャージのことの方が決め事（素材・デザイン等）が多いことから先に進めていきたいと考えている。 第４回に「第１次審査」とあるが、体操着・ジャージを作製しているメーカーは制服作製メーカーよりも多く、プロポーザルに参加したいというメーカーが多いことが予想されるため、「１次審査」と記載をしているが、場合によっては１次審査を行わないことも想定される。その後、二次審査を経て、体操着、ジャージのデザイン・色のサンプルをメーカーと検討し、制服同様選定投票を実施して、決定という流れを計画している。 スケジュールは現時点での計画となる。今後内容を精査していく中で変更する可能性があるので、ご理解いただければと思う。
構成員	学用品検討委員会の設置要綱のようなものがあって、その内容が今回提示さ

	れているということでよろしいか。
事務局	そのとおりである。
構成員	構成員の表記が「１２名程度」となっているが、公募の方がこの定員枠になったとき１２名になるということであれば、１３・１４名もあると捉えられるため、最大１２名等の表記の方がよいと思う。要綱と照らし合わせた表記がよいと思う。
事務局	最大１２名ということがわかるよう表記する。
構成員	今回の制服等学用品検討委員会の中で教育委員会としてもノウハウを得たと思う。それを生かして来年度の学用品検討委員会の１回の会議の内容をうまく進めていただいて、会議の回数を少しでも減らしていただけると参加しやすいと思う。
事務局	会議の回数については、スリム化が必要だと考えている。
構成員	光陽中のジャージの素材は変わらないか。
事務局	来年の検討委員会は“川柳中学校の学用品”に焦点を当てることになり、光陽中学校は既存校のため切り離して考えていく。光陽中のジャージに関しては、学校の方で考えていくことになる。
委員長	光陽中学校においても校内で共有しながらより良いものを選んでいく形を考えていきたいと思う。ジャージ一つにしても業者さんにあるストックなどの関係もあるため、すぐに新しいものに変えますということはできない。検討委員会での内容は学校で教職員と共有して、よりよいものを選ぶことができるようにしていきたいと考えている。
構成員	未就学児の公募枠として、検討委員会に小さなお子さんを連れてくることはあるか。
事務局	幼稚園などに行っている時間帯の日中の開催を予定している。
構成員	会議の中に赤ちゃん等を連れてくることはあるか。
事務局	もし連れてきた場合も問題なく進めていければと考えている。預けることができずに欠席の場合は、議事録を送付してお知らせしたり、意見をいただいたりすることを考えている。

構成員	公募する時に“託児室のようなものはない”ことを伝えてあげてもよろしいかもしれない。
その他	
事務局	全体を通して、ご意見・ご質問のある方はいるか。 ～特になし～
（１１：２０終了）	